

一般社団法人輝水会  
平成 31（2019）年度第 4 回通常理事会議事録

日 時 令和元年 11 月 19 日（火） 18 時 45 分～  
場 所 東京都新宿区新宿 3-38-1 ルミネエスト 8F モクオラディキシーダイナー  
理事総数 2 名  
監事総数 1 名

---

出席理事 2 名 手塚 由美、小川 彰  
欠席理事 1 名 木畑 実麻  
出席監事 1 名 山中 章江  
オブザーバー 1 名 笹島 正年

定款第 29 条の規定により、理事長手塚由美が議長席につき、過半数以上に当たる理事の出席を得ているので、本理事会は適法に成立した旨を告げ議事に入った。

## 1. 議 題

### 【決議事項】

#### 第 1 号議案 事業活動の集約の件

議長より別添え付属資料を示しながら説明に入った。全員意義なくこれを承認した。今後当法人の事業を以下の 3 つの柱とした。小川理事よりより内容の明確性を高めるため、

- ① 「サービス開発」を「社会参加支援プログラム開発」と表現
- ② 「福祉人材育成開発」を「相互能力開発」と表現
- ③ 「地域開発」を「地域連携開発」と表現するのはどうかとの意見があった。

各内容は以下の通り。

- ① 「サービス開発」→社会参加支援プログラムの開発  
地域施設(既存の社会資源)を有効利用、更にネットワークを組み、住民主体の新しいサービス(余り資金をかけない)、介護保険等制度だけに頼らないインフォーマルな社会資源)を開発していく。ここに含まれるのが水中リハビリテーション(水中アビリティエクササイズ<sup>®</sup>)や、リハビリテーション・スポーツ等とする。
- ② 「福祉人材開発」→相互能力開発  
福祉専門職や PT など医療従事者等に対し、エンカレッジ的(+α)としての学び交流(体験)の場を提供する。福祉専門職や学生に対し、「共に成長」をテーマにした福祉人材育成の取組みは、組織全体にシナジー効果が生まれ。組織の活性化に大きく寄与できる。
- ③ 「地域開発」→地域連携開発  
世田谷区地域保健医療福祉総合計画の中で、施策を展開する柱の一つとして、「NPO、

商店街、民間事業者等、様々な主体と協働し、新たな社会資源の開発や地域づくりを行う、及び従来の保健福祉の関係機関や団体との連携だけでなく、幅広いネットワークを構築することが必要で、区民の生活に関連する幅広い領域で活動する人々と連携し、地域福祉の推進を図る」ことを謳っており、しがらみのない当法人の立ち位置により、縦割り行政を超え連携を図り、つなぐ役割を果たしている点をさらに意識し「地域開発」につなげる。

上記、3つの開発を表す言葉として次回理事会までに来年度の事業計画に反映するよう検討していき、HPには3つの開発を明確に記載することをWEB担当の笹島氏に依頼した。

#### 【協議事項】

##### 1. 次回理事会開催日の件

議長より別添え付属資料を示しながら説明に入った。次回の理事会開催日について協議した所、次回平成30(2019)年度第5回通常理事会は令和2年1月21日火曜日18:30より豪開催場所で行うことにした。

##### 2. せたがや福祉区民学会ワークショップの件

議長より別添え付属資料を示しながら説明に入った。11月12日に行った瓜生人材育成・研修センター長、日大福祉学科の上之園特任教授打ち合わせに従い、12月7日当日、14:50~16:00までの70分を用い、三嶋前理事の語り(7分)学生のボッチャ体験を通じ、「学生でつくる住み続けたい世田谷(まち)」をテーマに参加人数に応じ、6名のグループワークを行うことにした。小川理事・山中監事・社員の露崎氏にもサポートをお願いする。小川理事より、ボッチャ交流を行う前に、2分の「リハ・スポーツ動画」を見てもらうのが良いのではないかとの意見があった。

##### 3. HP会員サイトに伴う来年度プロボノの件

議長より別添え付属資料を示しながら説明に入った。全員で協議し、来年度のプロボノ支援の申請については、1DayプロジェクトとしHP会員サイト土台となる枠組み作る支援を受ける方向で申請することとした。オブザーバーの笹島氏より、HPの会員サイトはハッカーなどにさらされやすいため、念には念を入れ、HPの構築を完璧なものとしたのちにその管理をどのように行うかも含め検討したいとの意見があった。

#### 【報告事項】

##### 1. 世田谷区福祉人材育成・研修センター長(瓜生氏)への挨拶の件

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。来年度の人材育成に向けて今後も瓜生氏にコンタクトを取っていく。

##### 2. 収支予算書見直しについて(顧問会計士より)

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。双方向に学び合う講習会などその

コンテンツに従い、次回理事会には来年度の予算を組むため引き続き内容を検討していく。

3. 第2期「リハビリ・スポーツ講座」の件  
議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。議長より、今後のリハ・スポーツ講座を開催する際に、地域社協に登録しているボランティア候補も最初から講座に参加し、一緒に楽しみながらサポートをお願いできる体制を作りたいとの意見があった。
4. リハ・スポーツ研究の件(小川理事)  
小川理事より別紙付属資料を示しながら報告があった。
5. ホームタウンプロジェクト(ライフシフトプログラム)の件  
議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。成果物は今後のあんしんすこやかセンター・ケアマネ・リハ病院への周知活動に定在適所利用していくことにする。
6. せたがやおもてなしプロジェクトの件  
議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。
7. 地域包括ケアの地区展開報告会(小川理事より)  
小川理事別紙付属資料を示しながら報告があった。
8. リハビリテーションスポーツ学会活動助成金報告の件(木畑理事)  
議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。
9. せたがや福社区民学会発表の件  
議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。
10. スミセイ助成金進捗状況の件(小川理事)  
小川理事より別紙付属資料を示しながら報告があった。スミセイより当法人が明らかに非営利的に立ち上げた一般社団法人である確認がなされたとの報告があった。

以上

以上をもって本日の議事を終了したので20時40分、議長は閉会を宣した。  
上記議事の経過の要領およびその結果を証するためこの議事録を作成し、出席理事及び監事は記名押印する。

令和元年11月19日

一般社団法人輝水会

議長・理事長 手塚 由美 法人印

理事 小川 彰 印

監事 山中 章江 印